



撮影:写真同好会 渡邊照芳君

# SESERAGI-MISHIMA Rotary Club Weekly Report

せせらぎ三島  
ロータリー  
クラブ週報

2007~2008年度 国際RI会長 ウィルフリッド・J・ウィルキンソン  
ロータリー2008:ロータリーは分かちあいの心



せせらぎ三島ロータリークラブ 会長 古屋 憲男  
クラブ会長基本テーマ 「原点を学ぶ」

**第903回例会** 2008.4.25(金)晴れ

司会:遠藤正亀君 指揮:石井邦夫君  
ロータリーソング「それでこそロータリー」

副会長 大房 正治 幹事 西原 克甫

事務所 三島市大社町17-4  
Tel.055-976-6351 Fax.055-976-6352  
<http://www.mishima-south-ro.gr.jp/>

例会場 三島グランドホテル Tel.055-975-4300  
毎週金曜日 第1・第3夜間例会

## 会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ 会長 古屋憲男君

4月20日(日)地区協議会へ参加された次年度の各委員会の方々ご苦労様でした。いよいよ次年度が本格的にスタートしたという事で、皆様それぞれの立場でさらに気が引き締まったものと思います。

次年度は、CLPの完成の年度だと言いつつ、地区の組織がそれに向かっていないのが基になりますが、我がクラブとしては、自分達が最良の形を作り出し、より楽しい実りのあるクラブにしていったらと思います、今日は参加者の中から各委員会を代表として発表して下さいます。

よろしくお願ひ致します。

幹事報告 ..... 幹事 西原 克甫君

- ①ロータリーレイトが5月から1\$102円に変更になります。
- ②せせらぎ三島ロータリークラブの証明書がRIより届いております。旧の三島南ロータリークラブの証明書は、本日、事務局からRIに返却いたします。

以上。



## あめでとろ

入会記念日 4月30日 土屋巧君

会員誕生日 4月29日 石井邦夫君

## 出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	29/35	82.86%	32/35	91.43%
今回	28/36	77.78%	会員総数	36名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			
	太田君、田中君、中村君、中山君 保坂君、山上君、米山君、渡邊君			

ようこそ  
南クラブへ

ゲスト・ビジター 鈴木良則君(沼津西)  
紀平幸一君(伊豆中央)

## スマイルボックス

紀平幸一君(伊豆中央):いつもお世話になります。

鈴木良則君(沼津西):お世話になります。

内田憲一君:先日は、地区大会欠席申し訳ございません。どうしてもはずせない行事が先に決定しておりましたので。代理の石井さん、ご迷惑をおかけしました。

大房正治君:4月20日、地区協議会に兼子次年度ガバナ一補佐以下12名の皆様、ご苦労様でした。

鈴木政則君:4月20日、地区協議会に参加ありがとうございました。いよいよ次年度に向けての準備が始まりました。今日は、全体会議および各部会の報告よろしくお願ひします。

西原克甫君:“地球にやさしい街づくり”第14回空き缶やタバコなどの投げ捨てストップキャンペーンのお知らせ  
4月29日(祝)午前9時30分から12時40分 場所は三島東海病院駐車場です。動きやすい服装でお気軽にご参加ください。炊き出しの「おにぎり」を用意します。

野中信行君:明日は孫のお宮参りです。  
山田定男君:5月3日夜、三津浜よりイカ釣りに行きます。  
大量祈願でスマイルします。

## 地区協議会報告

ガバナー補佐・会長部会 大房正治君

### ■ 2008年～2009年地区目標

1. 会員増強  
現在世界で120万人。2620地区ではピーク時4,589人だったものが3月末現在3,424人。約1,100人の減。よって各クラブ、純増1名以上を目標。女性会員の増強。
2. ロータリー財団寄付  
100ドル/人・年
3. ベネファクター  
各クラブ1名以上
4. 米山記念奨学会事業寄付  
12,000円/人・年
5. ポリオ撲滅資金への寄付  
1人23ドル、100%撲滅へ！  
未だに世界で4つの国と地域に残っている。スリランカ、バングラデシュ、パキスタン、アフリカ。ビル・ゲイツが1億ドル寄付をした。
6. GSE(研究グループ交換)  
相手地区6110地区アメリカ・ミズーリ、オクラホマ、カンザス、アーカンソーなどで、派遣は2008年9月18日～10月17日、受入は2008年11月1日～11月30日
7. 地区活性化援助金  
2,500円/人・年  
米山梅吉記念館援助金・青少年交換援助金・ITシステム推進化援助金  
★ガバナー月信を廃刊し、簡素化していく  
★青少年の後援(県より)  
★CLP(クラブリーダーシッププラン)を3年間、牧田年度で完成させる

広報・IT部会 山本章君

1. 対外的広報の充実  
一般の方の、RCに対する認識が薄い。RCの存在を知らしめることが一番なので、地域コミュニティーFMの活用を考えている。予算30万円で、静岡県内8局、山梨県内2局にCM60本を放送する。(当クラブでは会員の任意で、FMみしま・かなみで行っている)
2. IT化の経緯紹介
3. CMSの導入により地域ホームページを直接アクセス例会変更の告知  
ガバナーよりのお知らせ  
ガバナー月信のIT化  
地区委員会の報告

各RCからの情報(奉仕活動)  
4. IT化によるデータベース化の推進  
出席率のデータベース化  
話の中心は、地区のIT化の方向性の話で、個々のRCにどのようにしなさい的な話しはあまりなく、感想として、まだ各RCのIT化の取り組みはまちまちで、週報のホームページ化などはまだかなり遅れていると思われます。

会員増強部会 澤田稔君

2620地区の会員減少は全国でもワースト2という状況です。1クラブあたりのメンバーは43.5人というのが全国平均ですが、2620地区でもその数字は変わりません。現在我がせせらぎ三島では、36名で平均より約8名少ない状況です。したがって、基本的なロータリーの奉仕活動、具体的な地域社会へ、または国際的な奉仕活動、職業奉仕が、人数が足りないということもあって十分な活動ができておりません。これは財政的にも非常に厳しいものがあります。逆にもうひとつの基本である、親睦も楽しさが半減してしまいます。そこで大房年度では、一人が一人増強することを目標とします。地区協議会のセミナーでも、50名程度のクラブが理想的な運営ができ、しかも財政的にも活発な奉仕活動を進めることができるということです。

今後は20周年記念事業やIM等多くの事業があります。山田定男君山上光喜君ともども頑張りますので、全メンバーの絶大なるご協力をお願いいたします。全員でせせらぎ三島を活力のある立派なクラブにしましょう。新しい人に入会していただき、活性化しましょう。楽しいクラブになると思います。

奉仕プロジェクト部会 山梨一正君

### ■ 職業奉仕委員会

1. 自己の職業への奉仕  
「四つのテスト」の確認と職場への提示。自身の座右の銘の実施。
2. クラブの活動  
職業奉仕に関する会員卓話の実施。雇用の拡大と企業の継続への努力。職場訪問、優秀社員の表彰。
3. 分区の活動  
「生活よろず相談」の開催。法律・税務・医療・健康・建築・住宅・金融・保険等各分野において専門知識を持つメンバーが、ロータリーが掲げる「奉仕の精神」に基づき、皆様の相談に応じる社会貢献事業。
4. 地区奉仕委員会  
分区内で計画・実施した「生活よろず相談」の内容を編集し、職業奉仕月間に合わせ、ガバナー月信に掲載する。

### ■ 社会奉仕委員会

1. 「富士山を世界文化遺産に！」運動に参加する。

2. ①「地球温暖化」の研究 調査を通じて沙漠緑化の実践と啓蒙

②沙漠緑化苗木募金への協力

中国の沙漠に、「あなたの森」を作ってみませんか？  
木を植えて、地球を冷やそう！沙漠化防止！黄砂防止！

★私の木キャンペーン

1口：2000円でポプラの苗木1本植樹し、3年間管理します。植樹費用、記念碑にお名前と植林参加証明書、ポプラの写真1枚発送費を含む。

★遠山正瑛生誕100周年記念事業「日中友好平和の森」プロジェクト

〈個人・グループの森〉

1口：5万円 1000m<sup>2</sup> 250本

〈企業の森〉

1口：50万円 10000m<sup>2</sup> 2500本

5年間、日中双方でしっかり管理し、1年に一度育成状況を写真添付にて報告。自治区政府より友好の森参加証発行。

お申し込みは「日本沙漠緑化実践協会」柴崎様宛

電話：03-5812-0839

- 植林
- 地震、津波、洪水被害の支援
- 医療器具支援、検診と治療、福祉器具支援
- ソーラー、風力発電機の贈呈

■青少年交換小委員会

【目的と目標】

青少年交換プログラムは青少年に自国と異なる文化・価値感・歴史・伝統などを体験してもらうことにより、将来の世界を担う若者を育てる有意義なプログラムであると考えます。彼らは見知らぬ外国で家庭生活、学校生活、ローリー行事などを体験することにより、派遣国の多くの人たちと交流し、友情を深め合うこととなります。また、派遣の人たちに日本への理解と友好をアピールする親善大使としての働きも期待されます。

【現状】

2620地区ではアメリカ、オーストラリア、メキシコ、ブラジル、ドイツ、ベルギー、オーストリアなどと交換事業を実施しています。派遣学生は志願の後、1年間の研修期間中に受け入れ学生・帰国学生との交流を経て、大きな希望と意欲をもって1年間の海外生活を送ります

【課題】

近年の各クラブ会員数の減少、財政的負担、ホストファミリー選定の困難等の課題から本事業への推進は難しくなっています。事業の持続的なあり方やその方向性として、個々のクラブのみならず各分区での協力や支援体制が必要です。静岡第6分区や第7分区では事業への推進に対する申し合わせ事項や青少年交換基金が設けられました。これらの動きに伴い、派遣学生の募集、選考、研修、バウド研修指導等、具体的体制や地区委員会との仕組みづくりも対応は急務であり、大きな責任が課せられます。これら課題を乗り越え、一人でも多くの学生が本事業に参加し、ロータリーの持つ真の奉仕事業を推進するために、各クラブとその会員の皆様にご協力とご理解をお願いいたします。

■国際奉仕委員会

世界人口は現在(推計)67億人、1分で140人、1日で20万人、1年で8千万人が増えています。世界中で、年に6千万人が亡くなり、1億4千万人が産まれています。一部の地域や国の経済成長とは裏腹に格差、貧困の拡大、地球温暖化・表土と森が失われるなどの環境問題、石油の枯渇などのエネルギー問題、水と食料、病院と学校が不足しています。人も動物も植物も感染症問題は増大するばかり。戦争なんかしている場合ではありません！しかし、国家、民族、宗教間の激突、テロも減ってはいない大変な状況にあります。

世界が抱える問題の解決に自己利益を超えて挑む人々や仲間、「自らを律し、他に手をさしのべる」精神こそが必

■世界社会奉仕委員会

豊かな日本では想像のつかない飢餓や病気で幼い命が失われている発展途上国に、もっと目を向けてください。Rの友では毎号支援の記事を載せて訴えています。貧困の主因は文盲によるもので、識字率の向上も重要な支援のひとつです。

当委員会は今年度も各国に支援を行っているクラブに助成金を出し、活動をお手伝いします。地区の予算は年々減り昨年の70万円から50万円となりましたが、R財団のマッチング・グラントの活用などの連携も進めます。また、予算の上で複数のクラブの共同事業の橋渡しも行い、少しでも多くのクラブが取り組んでくれることを願っています。

どんな活動がなされているか事例を記しますが、どうやって取り組むかわからないときは、ノウハウを持っているクラブを紹介し、実現へのお手伝いをしますので委員会に連絡ください。

会員が現地視察や贈呈式に参加し、さらなる継続支援を目指すクラブに助成金が活かされること願っています。

【世界社会奉仕の事例】

- 学校建設、教材支援図書、文具、楽器、遊具)。給食設備、通学用中古自転車
- 里親制度(就学支援)
- 井戸、浄水器設置、便所の建設
- 親善交流野球、サッカー大会
- 姉妹クラブ提携による交流と支援活動
- 青少年交換(地区や姉妹クラブ等)

要で、私たちロータリアンの果たすべき大きな役割が必要なのであります。

第2620地区 国際奉仕委員会では世界社会奉仕小委員会(WCS)と青少年交換小委員会(YEP)の二つの活動があります。以下それぞれの活動について概略を述べます。

世界社会奉仕小委員会(WCS)は、識字率向上、水・環境衛生の向上、飢餓貧困からの脱却などの支援を必要としている地域に他国のクラブが手を差し伸べるプログラムです。

- ① 学校の無い地域に学校を建設
- ② 教材や文房具を提供
- ③ 通学用自転車の提供
- ④ 識字率の向上のための支援
- ⑤ 井戸掘り等による飲料水の確保、生活環境整備
- ⑥ 保健衛生の向上を目指すプロジェクト等の内容です。

**新世代部会**

望月保延君

地区協議会について報告致します。

私(望月)は新世代育成委員会に出席しました。内容的には インターアクト ローターアクトの話がメインテーマでした。その内容はどちらの組織もロータリーメンバーが減少している現在、その下部組織に位置している両組織の数的拡大を目指す運動を、どの様にしていくかと言う事がメインテーマになっていましたが、当クラブに於いて

は両組織を持っていないので他のクラブの苦勞している現状を聞いていた事でした。主な現状はどちらの組織も人数の減少をどうするか、という悩みでした。

以上簡単ですが報告と致します

**米山記念奨学会部会**

石井邦夫君

ロータリー米山奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。年間の奨学生採用数はおよそ800人、事業費は14.3億円(2006年度決算)と、国内では民間最大の奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生は、累計で1万3,92人(2007年4月現在)。その出身国は世界109の国と地域に及びます。予算の関係上、2620地区では20人の受け入れになっています。奨学金による経済的援助だけでなく、「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、ロータリーとの深い交流と精神的ケアを重視しているのが特長です。奨学生一人一人に、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かなものになるように配慮しています。奨学生にはかけがえのない経験となると同時に、支援するロータリアンにとっても、米山奨学事業の意義を実感し、理解を深める機会となっています。

**次回卓話**

5月9日(金) 宮澤正昭君

*Photo Gallery*



ビジターの鈴木良則君(沼津西)



同じく紀平幸一君(伊豆中央)



地区大会報告の大房正治君



地区大会報告の山本章君



地区大会報告の澤田稔君



地区大会報告の山梨一正君



地区大会報告の望月保延君



地区大会報告の石井邦夫君



入会記念日の土屋巧君